
地域脱炭素実現に向けた中核人材の 活用・育成・連携事業

令和8年9月
環境省 大臣官房 地域政策課 地域循環共生圏推進室

地域脱炭素実現に向けた具体施策実装支援事業のうち、 (3) 地域脱炭素実現に向けた中核人材の活用・育成・連携事業



地域での脱炭素実現のための計画づくり、合意形成、事業運営を担う中核人材を育成し、活用と連携を促進します。

1. 事業目的

2050年ネット・ゼロの実現に向け、多くの自治体で脱炭素分野の人材不足が課題である。地域課題の解決や地方創生に貢献する取組として脱炭素事業を計画・実行していくためには、地域の人材が主体的に取り組むことが不可欠である。このため、即戦力としての人材派遣、人材育成、企業・専門家とのネットワーク構築により、地域脱炭素の実現を担う中核人材を育成し、ノウハウを伝播することで、脱炭素ドミノの実現に貢献する。

2. 事業内容

①脱炭素まちづくりアドバイザー派遣・相談

地方公共団体に対して、地域脱炭素実現に向けた総合的な戦略策定や脱炭素事業創出に関するアドバイザーとして、専門家や企業人材を選定・派遣することで脱炭素施策の実装・具体化に必要な中核人材を育成し、地域脱炭素を推進する。また、多様な相談を一元的に受け付ける全国相談窓口を設置し、潜在的・包括的な課題を掘り起こし、活用可能な支援制度等に繋げる機能を設けることで、取組初期段階の地方公共団体の底上げを図る。

②地域における中核人材育成研修

着任時に必要な基礎的なセミナーから事業化に必要な実践的な講座まで、段階に応じた支援メニューを提供し、地域での脱炭素事業の持続的な実施に必要な中核人材の育成、他地域の人材との相互学習関係の構築を行う。

③地域の実情に応じた官民連携強化

各地域の官民連携強化策として、地方公共団体と地域企業等との協業促進のためのネットワーク機会を創出。各地方で開催し、地域の実情に応じたきめ細やかな対応を行うとともに、地域脱炭素を活用した地場産業の活性化を図る。

3. 事業スキーム

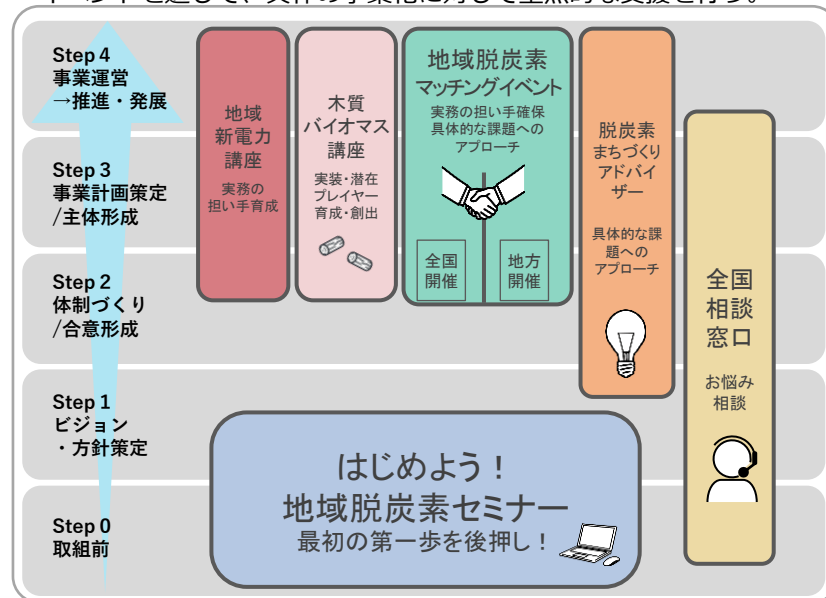
- 事業形態 委託事業
- 委託 民間事業者・団体等
- 実施期間 令和8年度～令和12年度

4. 事業イメージ

＜地域脱炭素取組のロードマップ＞

初期段階から事業運営まで、幅広い段階に向けた支援メニューによる、地域脱炭素の取組の全方位的な人材育成を実施する。

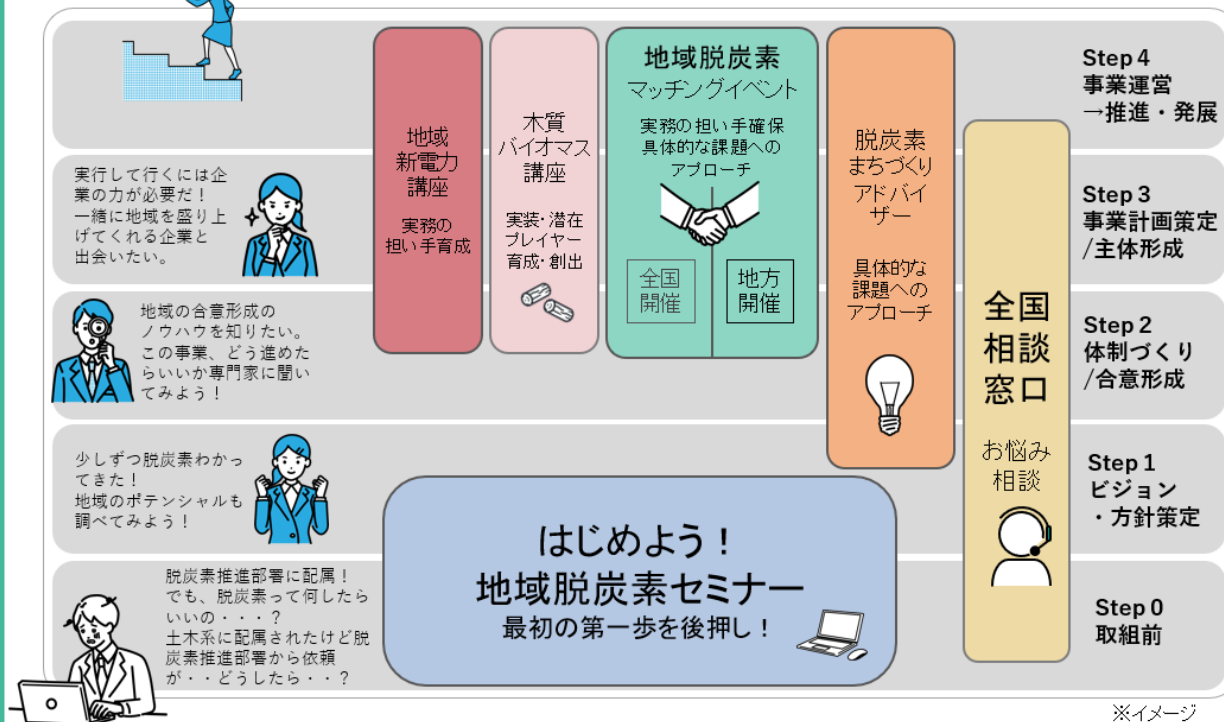
特に、事業化のハードルが高いことから、アドバイザーや講座、イベントを通して、具体の事業化に対して重点的な支援を行う。



(3) 地域脱炭素実現に向けた中核人材の活用・育成・連携事業

地域脱炭素実現に向けた中核人材の活用・育成・連携事業

- 地域脱炭素を推進するため、地域において主体的に脱炭素に取り組む人材の活用・育成・連携が必須。
- 環境省では、自治体向けの中核人材の育成・派遣を推進

脱炭素取組実施の
ロードマップ

※イメージ

【全国相談窓口】 R8～

地域脱炭素に取り組もうとする自治体等を支援するため、全国を対象としたお悩み相談窓口を設置。内容によってはアドバイザー派遣を提案。

【脱炭素まちづくりアドバイザー派遣】

地域脱炭素に関する専門的な知見・経験を有するアドバイザー（企業、地域新電力、先進自治体職員等）を地方公共団体等に派遣

【地域脱炭素マッチングイベント】

地域脱炭素に取り組みたい地方公共団体と、脱炭素に関する豊富な経験等を有する民間事業者との間で人的ネットワークを構築

【オンライン連続講座】

地域脱炭素セミナー・地域新電力講座・木質バイオマス講座を実施。地域脱炭素の考え方・ノウハウを自治体等地域人材にインプット

全国相談窓口（名称：脱炭素まちづくり相談窓口） R8～

- アドバイザー派遣の申請をためらうといった自治体の実態を鑑み、気軽に利用できる相談窓口機能の充実
- 「課題の整理ができていない」、「具体的な施策の検討まで進めていない」、「どの脱炭素アドバイザーが適しているかわからない」などの悩みを抱える自治体に対して、支援窓口を設置して助言

こんな疑問・悩み事ありませんか？



実行計画は作ったけれど、どの施策から実施すればいいのか…？ 気軽な相談相手が欲しい。アドバイスが聞きたい。



公共施設に太陽光発電を導入したいけれど、どう進めればいい？ 費用感やポテンシャルの計算方法は合っている？



普及事業をする予定だけれど、楽しく学べるいいアイデアないかな…？



技術や採算面がよく分からず事業の検討がなかなか進まない。知見や、セカンドオピニオンを聞きたい。



補助金や、参考資料・他事例等はある？ 庁内で理解を深めるためにはどうすればいいか…？

…など

- ・ 広く知見を有する事務局が悩みを解きほぐし、課題の整理や今後の道筋をフォローしアドバイザー派遣等のその他事業へ誘導
- ・ 適切なアドバイザーの紹介（申請支援）を軸として、その他、有用施策などへの橋渡し
- ・ 「スポット型」のアドバイザー派遣は、公募形式をやめ、**随時受付へ変更**。相談窓口からの申込も可能。

脱炭素に関して悩まれているようでしたら、是非、相談窓口を御活用ください！

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/consultation-desk/>

(3) 地域脱炭素実現に向けた中核人材の活用・育成・連携事業

脱炭素まちづくりアドバイザー派遣

- 地方公共団体が主導する地域脱炭素の取組を推進するため、専門的な知識・経験を持つ民間事業者や地方公共団体職員等を「脱炭素まちづくりアドバイザー」として登録し、希望する地方公共団体等に派遣。現地及びオンラインミーティングによる指導助言。

脱炭素まちづくりアドバイザー派遣（R8年度）

<派遣形式>

①スポット型

- ・現地訪問（最大1泊2日）による指導助言
- ・オンラインミーティング（2h程度×2回）による指導助言

②伴走型

- ・現地訪問（1泊2日程度）×2回による指導助言
- ・オンラインミーティング（2h程度×4回）による指導助言

③都道府県型 **R8～**

- ・現地訪問（1泊2日程度）×3回による指導助言
- ・オンラインミーティング（2h程度×6回）による指導助言

<アドバイザー>

- ・自治体のニーズを踏まえアドバイザー（67名）を派遣

宇山 生朗
(うやま いくろう)



(公財) 北海道環境財団

専門領域：地域脱炭素に関する包括的な企画・情報支援、コミュニティ形成、行動変容
活動地域：北海道、全国

くわしく見る ▶

上保 裕典
(うえぼ ゆうすけ)



Local One

専門領域：地域新電力、再エネ導入計画、脱炭素社会に向けた戦略策定
活動地域：中国、全国

くわしく見る ▶

榎原 友樹
(えはら ともき)



株式会社イー・コンザル/株式会社能勢・豊能まちづくり

専門領域：脱炭素戦略策定、地域新電力、再生可能エネルギー事業、脱炭素交通、エネルギーマネジメント

活動地域：近畿、全国

くわしく見る ▶

実績・成果

- ・ R6年度の派遣数：71団体
- ・ R7年度の派遣数：71団体
- ・ 参加者アンケート結果（R7年度）
 - ✓ 取組進展：活用団体の97%が「脱炭素の取組が進んだ」、94%が「課題が解決された」と回答
 - ✓ 相談事項：ビジョン検討、庁内連携、官民連携、行動変容等
 - ✓ 良かった点：「財政・事務的な負担がない」「専門的な知見や最新動向、他自治体の事例が得られる」「サポート体制が柔軟」等

R9年度以降の方向性

- ・ 知見・ノウハウの地域への蓄積と取組の持続性のために、自治体だけでなく、連携する地域のプレイヤーも対象とした伴走支援体制を継続する。
⇒持続的な施策推進体制の地域定着に繋げる。

(3) 地域脱炭素実現に向けた中核人材の活用・育成・連携事業

地域脱炭素マッチングイベント

- 地域脱炭素に取り組みたい地方公共団体と、脱炭素に関する豊富な経験等を有する民間事業者との間で人的ネットワークを構築し、地域脱炭素を推進
- 東京での全国規模の開催だけではなく、地方で地元企業との関係構築の需要があることから、R8年度から地方ブロックでも開催

地域脱炭素マッチングイベント（R8年度）

日時：2026年10月23日（金）10:00～17:00

会場：ベルサール秋葉原

次第：協業事例紹介

地方公共団体と企業のマッチング

名刺交換等交流会

参加地方公共団体：

北海道、東北、関東、中部、近畿、中四国

九州の各地から計18の地方公共団体予定

参加事業者：

エネルギー（電力）、情報・通信、建設、自動車、
廃棄物処理などの事業者



＜地方ブロック開催＞

R8年度は、全国 6 ブロックで開催予定

開催地域は、北海道、関東、中国、四国、九州、沖縄

実績・成果

- R4～6年度：のべ69参加自治体中
18団体（26件）協業決定（1年後時点）
- R7年度：参加30自治体中
25団体（112件）協業可能性（イベント直後時点）
- 参加者アンケート結果（R7年度）
非常に高い満足度：自治体93%、企業79%が「満足」
例）市の課題に対し新たな視点や具体的な連携を提案してもらえた
一度に複数の企業と意見交換ができ、有意義だった

R9年度以降の方向性

- R9年度においても、地方ブロック単位での開催を予定

(3) 地域脱炭素実現に向けた中核人材の活用・育成・連携事業

オンライン講座（はじめよう！地域脱炭素セミナー）

- 自治体や地域の事業者等を対象に、地域脱炭素の基礎的な知識や事例、実践の際に様々な壁を乗り越える方法等を学ぶことができるオンライン基礎講座「はじめよう！地域脱炭素セミナー」を開催（全2回）

R8年度 講座一覧

第1回（7/29）

地域脱炭素につなげる地域経済循環分析 ～地域エネルギー循環を見える化する～

- ・地域脱炭素と地域エネルギー循環（株式会社価値総合研究所）
- ・エネルギーの地産地消に向けた分析例（北海道松前町）
- ・バイオマス発電事業における地域経済波及効果の分析例（日本フォレスト株式会社）

第2回（9/4）

太陽光発電のステップアップ実務 ～ポテンシャル調査、PPAの法務、役立つ試算～

- ・公共施設へのPPA事業による再エネ導入について（神奈川県横浜市）
- ・オンサイトPPAの仕様書・契約書の作成ポイント（森・濱田松本法律事務所）
- ・役立つ太陽光発電の簡易試算の紹介

環境省
Ministry of the Environment

脱炭素まちづくりのための
セミナー＆連続講座

「脱炭素って、何から始めればいいのか？」
そんなあなたのための、脱炭素まちづくりを基礎から学べる
講座です。

参加費無料
オンライン・
アーカイブ動画も！

実績・成果

- ・ 講座内容はアーカイブ動画として「脱炭素地域づくり支援サイト」にて常時一般公開中
(URL:<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/seminar/>)
- ・ R4～R7で延べ11,500人以上参加
(参考：R7年度)
 - 延べ1,551名が参加。内、自治体は3割程度。
 - アーカイブ動画の総再生数は3,900回
 - アンケートでは、全8回いずれも8～9割が「満足」と回答。
他自治体の工夫している点や苦労した点といった『事例』を学べたことを上げた回答が多数あった。

R9年度以降の方向性

- ・ 自治体における地域脱炭素の取組段階の進展等を踏まえ、これまで未実施かつニーズの高い内容を実施予定
 - ✓ 地域共生再エネ、合意形成、リユースPV、リユースEVなど
- ・ その他の人材育成との連携

(3) 地域脱炭素実現に向けた中核人材の活用・育成・連携事業

地域による地域のための地域新電力連続講座

- 地域新電力や地域共生型再エネ開発の事業を検討又は実施している地域人材を対象に、地域再エネ事業を実践する上で重要な視点・ノウハウを提供する「地域新電力講座」を開催（R8年度：一般コース 7回、事業化実践コース 10回）
- 各回（現地研修含む）講座終了後に「座談会」及び「個別相談会」を実施

地域新電力連続講座 2026

	オンライン講座・実習						現地実習
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	鳥根県浜田市
日程	7月10日(金)	7月17日(金)	8月26日(水)	9月9日(水)	10月28日(水)	11月6日(金)	11月13日(金)
時間(予定)	13:00~15:00	13:00~15:00	13:00~15:00	13:00~15:00	10:00~17:00	10:00~17:00	12:20~18:30
テーマ	地域エネルギー会社の作り方		事例紹介①	事例紹介②	太陽光発電 開発	小水力発電開発 マイクログリッド事業	小売電気事業 風力発電
内容	・地域エネルギー会社の現状 ・制度説明 ・実務紹介	・組織ガバナンス ・電源調達のポイント ・リスクヘッジ	テーマ： 地域脱炭素事業、 ローカルシンクタンク	テーマ： 地域課題解決	・設置場所の探し方 ・手続き実務 ・収支計画(実習) ・オンサイトPPA ・オフサイトPPA	(小水力発電) ・設置場所の探し方 ・手続き実務、関係者調整 ・収支計画(実習) (マイクログリッド事業) ・実施留意点(採算性など) 事例	・地域エネルギー会社の需給管理 ・風力発電、太陽光 発電現地見学 ・ネットワーク
講師	ローカルグッド	ローカルグッド	・ローカルエナジー ・たんたんエナジー ・かつのパワー	・陸前高田しみんエネルギー ・三河の山里コミュニティパワー ・能勢・豊能まちづくり	ひおき地域エネルギー	(小水力発電) 太陽ガス (マイクログリッド事業) 葛尾創生電力	神楽電力

	現地実習		発表会
	東京・田町	東京・田町	オンライン
日程	7月23日(木)	7月24日(金)	12月4日(金)
時間(予定)	13:00~17:00	9:00~14:00	13:00~15:00
テーマ	事業計画書の作成		発表会
内容	・事業計画書の作成実習 ・グループディスカッション(地域エネルギー会社が担う役割等)	・収支計画書の作成実習 (設立済みの方は、新規事業計画書・収支計算書)	・事業計画書、収支計画書の発表 ・ロールプレイング
講師	ローカルグッド	ローカルグッド	ローカルグッド



実績・成果

- ・ R4～R7で延べ2,100人以上参加（増加傾向）
- ・ 参加者アンケート結果（R7年度）
 - ✓ 非常に高い満足度：「とても満足」「満足」が約98%
 - 「不満」「とても不満」はゼロ
 - ✓ 次の行動への後押し：ほぼ全員が何らかの行動につなげる
例）現在検討中の事業に反映させる、ステークホルダーとの意見交換を開催する
- ・ 個別相談会：相談12件（具体的な事業進展を後押し）
- ・ 地域新電力の設立等（累計）：23件
「参加者が地域新電力を設立」「設立に向けた協定の締結」等

R9年度以降の方向性

- ・ 知見が不足する分野やニーズの高い分野、次の行動につながる実践的な実習などの開催
- ・ 相談機会の更なる確保（地域脱炭素施策全般に関しても）

地域で進める！木質バイオマスエネルギー推進講座 R8～

- 地域の木材資源を持続可能に活用しつつ行う木質バイオマスエネルギーの導入は、地域の活性化やレジリエンス向上の効果が期待できるものの、発電事業に比べ熱利用の取組はあまり普及していない。そこで、木質バイオマス熱利用・熱電供給をテーマとした講座を開設。

R8年度 講座一覧

第1回 (7/30)

木質バイオマスの熱利用の全体像と熱電併給の実際

- ・木質バイオマスのエネルギー利用の原則と現実、実践（ラブフォレスト株式会社）
- ・福祉施設における熱電併給・熱利用（紫波グリーンエネルギー株式会社）
- ・ガス化発電とサテライト方式による熱利用（津和野フォレストエナジー合同会社）
- ・チップ生産者からみる発電・熱利用（坂井森林組合）

第2回 (9/2)

自治体主導によるバイオマスまちづくりの実践

- ・八女市木質バイオマスボイラー面的導入事例（福岡県八女市）
- ・森林バイオマスエネルギー事業について（島根県雲南市）
- ・バイオマス産業都市 真庭の取組（岡山県真庭市）

第3回 (9/29)

バイオマスボイラ導入の実務と民間導入のリアル

- ・バイオマスボイラ導入の実務（Reast株式会社）
- ・ESCO型事業による温浴施設への熱供給（一般社団法人南紀自然エネルギー）
- ・温泉旅館へのバイオマスボイラの導入（株式会社芦原国際ホテル美松）
- ・木質バイオマスによる地域循環共生圏の構築（カルスト森林組合）

現地研修（岡山県真庭市） 11/16～17

1 日目		2 日目	
研修	■ イントロダクション ■ 真庭市の取組紹介	ワークショップ	化石燃料ボイラを題材に、バイオマス燃料への転換をシミュレーション。参加者それぞれの地域におけるボトルネックポイントの洗い出しと、構想やビジョンの作成など。
		講義	銘建工業（株）
視察	■ 月田総合集積場 ■ 真庭バイオマス集積基地 第2工場 ■ 真庭バイオマス発電所 ■ 市役所本庁舎 バイオマスボイラ	ランチセッション	質疑応答など
		振り返り	発表、まとめ

R9年度以降の方向性

- ・ 具体的な実務を学習できる機会の創設（設計等）
- ・ 導入方式等、取組の壁となりやすいポイントのクリアに向けた講座
- ・ 課題に直面している運用中地域の再生を支援すると共に、公開型ワークショップとしての学習機会の場として活用